

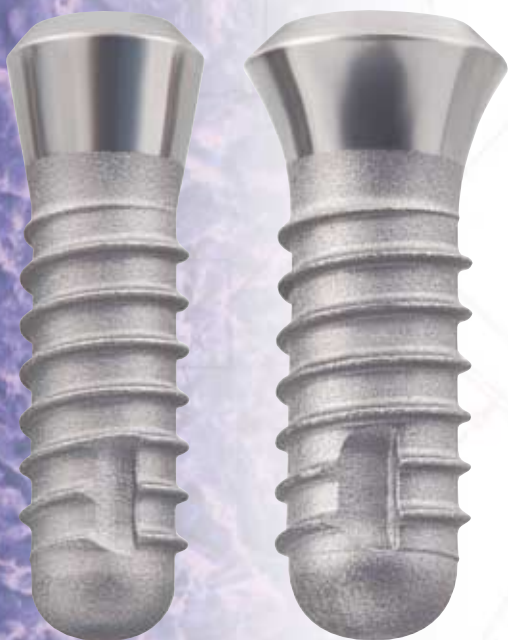


ライフコア社 (ミネソタ、米国)

# ステージ1 RBMインプラント

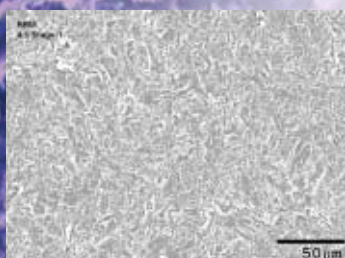
## 骨融合に 理想的な表面を実現

ステージ1RBMは磷酸カルシウムセラミックをチタニウム素材にブラストして粗面にすることでオッセオインテグレーション獲得に最適のマイクロピット(5-10 $\mu$ m)を有しています。酸エッチングしていないので、為害作用の心配がなく骨接触面はマシン加工インプラントの2.5倍あり、高レベルの骨融合が得られます。

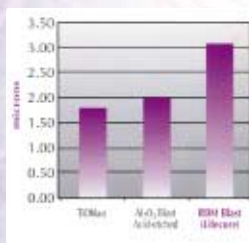


### ステージ1 RBMインプラント

- 、インターロックの上部構造連結部で補綴物が動揺しません。
- 、カラーは1.8mmと2.8mmが用意されています。
- 、フレア状のネックで軟組織を保護して、自然なエマージェンスプロファイルを確保します。
- 、アピカルフルートで埋入作業が容易です。
- 、表面の骨反応は臨床家に高い評価があります。



RBM表面



RBMは骨融合に最適な表面粗さを持っています。

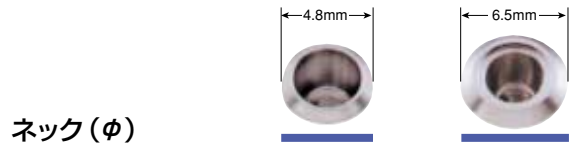
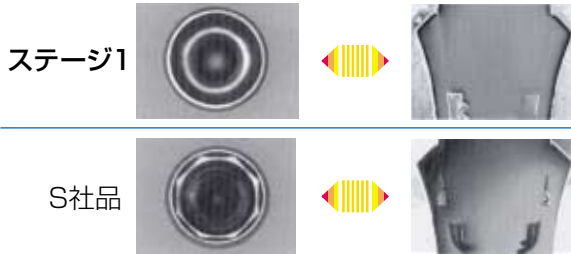
### RBM(Resorbable Blast Media)による表面処理

被吸収性で生体親和性のある磷酸カルシウムセラミックをブラストし、酸エッチング処理はしていません。ブラスト後の残渣は洗浄することで完全除去され、クリーンで粗面を有する純チタニウム表面が得られます。

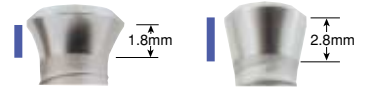
# ステージ1 RBMインプラント

## ステージ1インプラントの上部構造連結部

モーステーパーで上部構造は無理なく自然にセンターロックします。アバットメントとの接触面積が広く、テーパーロッキングによって補綴物が動揺せず、均一なウォール厚みがあるので十分な強度があります。



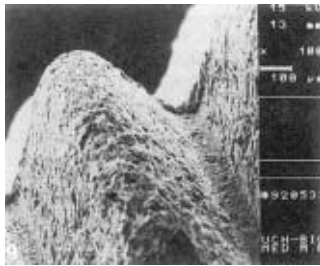
ネック(φ)  
4.8mmと6.5mm



カラー(h)  
1.8mmと2.8mm

## RBM(Resorbable Blast Media)の骨反応

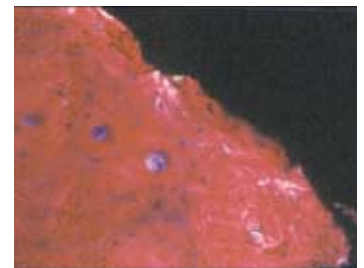
生後1年のニュージーランド産ヤギの脛骨にRBMで表面処理したインプラントを埋入したSEM像です。



皮質骨ではインプラントが新生骨に満たされ、緊密に骨と接触している。(×25)



皮質骨から骨芽細胞が板状に造成(×10)



層板骨、骨細胞、血管。炎症性細胞あるいは線維組織は認められない。

3つめのネジ山から下は、インプラント表面は山の部分だけでなく谷の部分もすべて粗面になっている。(×100)

資料提供:Antonio Sanz R.DDS.

Bone Response to a New Surface Treatment of Endosseous Titanium Implants より

### ステージ1 RBMの種類



口径(φ)	カラー	骨内埋入部の長さ
4.1	1.8	8,10,12,14,16
4.1	2.8	8,10,12,14,16
4.8	1.8	8,10,12,14,16
4.8	2.8	8,10,12,14,16

単位: mm

プレースメントヘッドとカバースクリューは各々のインプラントに付属しています。

※カバースクリューの着脱は、048°HEXドライバーを使用します。  
※ワイドネック(ネックφ6.5mm)は口径4.8mmのみで骨内埋入部の長さは14mmまでです。

## フリップトップ包装



ライフコアのインプラントは全て、衛生的なフリップトップ包装になっています。(Y線滅菌処理済)  
付属のチャートラベルはパノラマフィルムやレセプトに貼りつけ、患者管理の記録として利用できます。

承認番号 21400BZY00198000